

第9回マイタウン・バス南部線河辺地域運行協議会議事要旨

開催日時 平成27年1月18日（日） 午後1時30分～2時30分

開催場所 河辺市民サービスセンター 洋室1

委員定数 15人

出席委員 14人

次第
1 開 会
2 議 事
3 その他
4 閉 会

議 事
議事1 利用実績について
議事2 フリー乗降区間の設定について

〈議事〉		
会	長	これより議事に入る。 議事1 利用実績について、事務局から説明をお願いする。
事務局		(議事の内容を説明)
会	長	事務局からの説明について、何か質問、意見等あるか。
委員		河辺Cコースは、どのような利用状況か。
事務局		次第に利用者が増えてきている。
委員		河辺Cコースを小学生は利用しているか。
委員		利用していない。 ほとんど通院に利用されている。
会	長	運行開始月の利用が少ないが、住民にPRしたのか。
委員		CコースのPRとして、リーフレットを町内会を通じて全戸配布している。元々バス路線でなく、バス利用者がいなかったことから、運行開始月の利用は少なかったものの、利便性が口コミで広がり、利用が増えてきていると考えている。
委員		今では、利用者から、1週間など、まとめて予約をしてもらっている。
会	長	どのように利用しているのか。
委員		行きに午前の便を利用し、午後の便に合わせて帰ってくるようである。
委員		Aコースの日赤病院へ行く便に乗り継ぎできるBコース(予約式)の便を、電話をしない便(定時定路)に午前(1便)と午後(4便)に1便ずつでいいから出来ないか。
事務局		利用状況を確認し、検討する。 しかし、固定客がいれば良いが、利用にバラツキがあれば、空バスは走らせたくないため、定時定路は困難である。
委員		最初は、周知されるまで時間がかかり、空バスが走るようになるだろうが、少し辛抱して実施して欲しい。
委員		イオンから秋田駅への乗り継ぎが、30分待たなければならない。 大学病院へ行く太平線(路線バス)との乗り継ぎを工夫して欲しい。
事務局		乗り継ぎ状況を確認し、ダイヤの見直しを検討する。
会	長	引き続き、議事2 フリー乗降区間の設定について、事務局から説明

をお願いする。

事務局 (議事2の内容を説明)

会長 事務局からの説明について、何か質問、意見等あるか。

委員 河辺地域Bコースにおいて、中央交通の路線バスが運行していたように、「台地区」の中を運行して欲しい。

事務局 前回の運行協議会においても、要望があったことから、検討したところ、「台入口」の中をマイタウン・バスの車両で走行することは可能であるが、運行するには、路線が長くなり、運行時間も増加することから、ほかの路線である河辺AやCコース等のダイヤに影響がある。
よって、今後、各コースの利用者等に伺いながら、路線変更の可能性について検討する。

委員 河辺Aコースの石川～大部～諸井下丁の路線箇所において、下り2便と上り6便ともに、山根の住民しか乗っていないので、これらの便だけでいいので、利便性を高めるため、山根地区を通る路線に変更して欲しい。

事務局 利用状況を確認して検討する。

委員 バス停を基本として乗降すれば、運転手と利用者の意思疎通の誤解がないが、フリー乗降は乗降の意思疎通が難しいので、利用する側もルールを守っていかなければならない。

会長 次第3のその他について、何かあるか。

事務局 前回の運行協議会で報告していた乗降ボタンを下げる残り3台の車両については、平成27年度の車両の代替えに合わせて、設置する。

委員 10月までには、車両を代替えする予定である。
また、車両の内外にお知らせできるマイクや運転手の名前を掲示板の脇に設置する。

委員 先ほどの台地区の路線変更を検討する際、諸問題解決のための課題については、誰を窓口にしたらよいか。

会長 町内会長等と検討して行けばいいのではないか。
ルール変更の申請は、どのくらいの期間が必要か。

委員 申請のみで2箇月かかる。
申請資料の作成期間も含めると、更に時間が必要である。

会長 改善を加えながら行って欲しい。
時間がかかるのはやむを得ない。

事務局 ほかになければ、これで協議会を終了する。